

(様式b) 改善計画書

施設名 G&Cホームブルーミング (担当者: 川村)

(作成年月日 平成 24 年 3 月 2 日作成)

実施内容	課題・改善点		達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール(人・予算・情報・手順等)	担当
	(施設として続けるに優れている点)	1	地域生活に必要なニーズ把握に努め、サービス提供を継続して行っていく					
2		アセスメントシートは利用者さんがわかりやすいようにチェックシート(レーダーチャート)にし、視覚で自分の目標をわかりやすく説明する						
3		利用者さんが気持ちよく生活できるように、ホームの環境整備に努める						
4		レクリエーションを充実し、楽しい所得保障の工夫をする						
5		情報共有の推進						
すぐに行えること	1	理念・基本方針の周知	全職員への周知	1年	2012/4/1	2013/3/31	具体的な基本方針を朝の会議で読み合わせ、習慣化する。ホームには利用者になじみのあるペンギンの掲示物や利用者がクラブ活動で作成した物で掲示していく。利用者にとって入っていきやすい(理解しやすい)方法で伝えていく。	全職員
	2	リスクの把握と対策	全職員への周知	6か月	2012/4/1	2012/8/31	ヒヤリハットの事例集を作り、定期的に事例検討に取り組む	松本
	3	利用者尊重の姿勢の共通理解の取り組み	日々、利用者尊重の理解に努める	1年	2012/4/1	2013/3/31	人権研修や第三者評価等を通し、日々の支援方法を振り返る機会を定期的に作る。	全職員
	4	支援計画書に基づいたサービス提供	全職員への周知	6か月	2012/4/1	2012/8/31	毎日、朝の会議にサービス実施計画を置き、目標を確認して、サービス計画書と実際のサービス提供のズレを確認する	全職員
	5							
工夫すればできること	1	中・長期計画への職員の参画の仕方	職員の参画と周知	1年	2012/4/1	2013/3/31	計画案段階で朝の会議等を利用し、実施状況の確認をしたり、話し合いの機会を持ち、計画へ反映させていく。	柏木
	2	意見聴取の体制整備と満足向上への取り組み	自治会の円滑な運営	1年	2012/4/1	2013/3/31	個別に聞き取りしていくことに加え、自治会を中心に体制整備する。アンケート調査の取り方を工夫し、自治会で意見の集約、報告をしていく。	松本
	3	定期的なPDCAサイクルの整備	毎年継続して行う	1年	2012/4/1	2013/3/31	研修計画に盛り込み、年1回、今回の評価基準をもとに、確認作業していく。	川村
	4	業務のマニュアル化	マニュアル作成	6か月	2012/4/1	2012/8/31	朝の会議等で決められた時は、その都度用紙に記録をとり、マニュアル集を作る。毎月見直しを行い、必要なものを残していく。	全職員
	5	実習生・ボランティア受け入れの体制整備	受け入れマニュアルを作成し、基盤を作る	1年	2012/4/1	2013/3/31	実習をホームで受け入れることが困難でも、法人全体として受け入れた際、事業所の見学をすることで、知る機会を作り、対応方法を探る。	全職員
予算化しないとできないこと	1	福利厚生の充実	職員の満足を得るものを目指す	6か月	2012/4/1	2012/8/31	定期的に職員からの意見をくみ取る場を設定する	柏木・金原
	2	職員研修の充実・質の向上	内部研修を含め、定期的に行う	1年	2012/4/1	2013/3/31	キャリアパスに伴う段階的な研修計画を作り、現時点での自分に合った研修がわかるようにする。また、希望に合った研修に行けるよう、職員からの声に出来る限り応えていく。	柏木・金原
	3							
	4							
	5							